

特定非営利活動法人 NPO政策研究所

2019年度事業報告書

2020年度定時総会（2020年5月30日）にて承認

2019年度事業の実施状況

1. 事業期間 2019年4月1日～2020年3月31日

2. 概況

2019年度は複数の自治体からの受託事業を中心に、持続可能な社会づくりを目指して事業を実施したが、財政的には単年度ベースで若干の黒字となった。

調査研究事業としては、《持続可能な社会の実現》に関わる受託事業となった。奈良県広陵町からは、昨年度に引き続き「広陵町自治基本条例（仮称）案策定支援業務委託」を受託した。今年度は策定審議会（8回）、町民参加のワークショップ（3回）、職員研修（4回）、スタートアップフォーラム（1回）等を実施し、それ以外に職員ワーキンググループの会合に参加した。その結果、自治基本条例（案）及び条例の逐条解説書（案）を作成した。

豊中市からは、おさむしまちラボと「豊中市地域カルテ作成受託共同事業体」を構成し、「（仮称）地域カルテ作成支援業務委託」を受託した。これは、庁内向けの41小学校区別データベースであり、定量システムと定性システムで構成されるものである。同時に操作、入力・更新マニュアルも作成した。

広陵町からは、新規事業として、「広陵町の公民館の建替及び文化芸術のあり方検討委員会運営支援業務」を受注し、2020年2月にスタートしたが、新型コロナウイルスによる感染症の影響で委員会を1回開催したに留まった。

奈良県生駒市から昨年度に引き続き、壺分校区、中地区でのワークショップを各1回受託した。壺分校区では、住民の居場所をテーマに、中地区では昨年のWSで提案されたスタンプラリーの実施についてをテーマに実施した。

今年度も、理事長・専務理事・理事等において、自治体の各種審議会・委員会委員や各種研修会・講座等の講師活動を通して、研究所の事業の柱である、「持続可能な地域づくり」「新しい地域自治システムの構築」「市民参画、NPOと行政の協働」を推進した。

ネットワーキング活動としては、自治体学会、コミュニティ政策学会、文化政策学会等に参加した。

市民自治講座は、当法人の団体会員である大阪市政調査会と実行委員会を組織し、同志社大学同志社大学大学院総合政策科学研究科教授・政策学部教授新川達郎氏を講師に「まちづくりガバナンスと市民協働」をテーマに 2020 年 3 月から開催の予定であったが、新型コロナウイルスによる感染症の影響で時期を繰り下げて 5 月から 3 回開催することとなった。

また、市民自治ブックレットとして、市民自治講座第Ⅳ期の記録『自治体とは何か・公務員とは何か』（今井照）を 3 月に刊行した。

3. 事業について

(受託事業)

委託者	業務名（略称）	受託金額（円）
奈良県広陵町	広陵町自治基本条例（仮称）案策定支援業務委託	3,981,960
大阪府豊中市	（仮称）地域カルテ作成支援業務委託	*1,892,000
奈良県生駒市	やまびこネットワーク・ワークショップ企画・実施委託業務	291,500
奈良県生駒市	中地区・ワークショップ企画・実施委託業務	257,400
奈良県広陵町	公民館建替及び文化芸術のあり方検討委員会支援	291,500
計		6,714,360

* 共同事業体としては、¥3,784,000.-である。

なお、今年度の受託事業はすべて定款第 4 条（非営利活動の種類）の「(3)まちづくりの推進を図る活動」に該当する。

(1) 「広陵町自治基本条例（仮称）案策定支援業務委託」（奈良県広陵町より受託：3,982 千円）

① 業務の目的

本業務は、昨年度に引き続き奈良県広陵町が、自治基本条例（仮称）案制定に向けて立ち上げた広陵町自治基本条例策定審議会の運営支援とそれに係る町民ワークショップ、職員研修、職員ワーキンググループ支援等を行った。

② 業務の内容

1) 自治基本条例審議会運営支援

「自治基本条例審議会設置条例」に基づく審議会の運営に対して、論点資料の作成、ワークショップの進行、会議録の作成等を行った。

(実施日時)

第 1 回	6 月 15 日（土）	諸手続き、趣旨説明、スケジュール、学習会等
第 2 回	8 月 3 日（土）	広陵町の法体系および現状等について、ワークショップ（広陵町の将来像について）
第 3 回	9 月 8 日（日）	ワークショップ（参画と協働について）
第 4 回	10 月 19 日（土）	ワークショップ（地域自治協議会について）、部会編成
第 5 回	11 月 10 日（日）	部会での審議（総則ブロック、参画協働ブロック）

第6回	12月7日(土)	部会での審議(総則ブロック、参画協働ブロック)
第7回	1月25日(土)	部会での審議(総則ブロック、参画協働ブロック)
第8回	2月22日(土)	部会での審議(総則ブロック、参画協働ブロック)

2) 町民ワークショップ運営支援

自治基本条例に盛り込むべき町民意見をワークショップにて募集するため、ワークショップの企画運営、当日の進行ファシリテーションを行った。

第1回	9月8日(日)	自治基本条例についてミニレクチャー(中川幾郎氏) ワークショップ:「広陵町の将来像」の検討
第2回	11月10日(日)	ワークショップ:住民主体のまちづくり=自治をすすめるには? 地域自治のしくみについて
第3回	12月7日(土)	ワークショップ:議会・町長・町職員の役割について

3) シンポジウム開催支援

条例策定に向けたキックオフ・シンポジウムの講師選定支援を行ったほか、当日のパネルディスカッション時に、参加者からの付箋による質問・意見の抽出を行った。

2019年5月19日(日) 13:30~15:30 於広陵中央公民館かぐや姫ホール

基調講演 「自治と自治体とわたしたち」 龍谷大学政策学部教授 土山希美枝氏
パネルディスカッション 土山希美枝氏、中川幾郎氏、広陵町長山村吉由氏

4) 職員研修及び検討委員会研修

自治基本条例について制定の背景と論点について、一般職員向けの研修を行なった。

2020年1月27日(月)、1月31日(金) 各2回 講師:中川幾郎帝塚山大学名誉教授

5) 庁内ワーキンググループ支援

庁内ワーキンググループのファシリテーター班と法制班に役割分担を分けたのちに、ファシリテーター班による町民ワークショップの開催支援を行えるようファシリテーション技術の習得をする研修を実施し、法制班においては、審議会への条文案作成のためのアドバイスをを行った。

2019年6月4日、8月26日、10月28日、11月25日、1月14日、2月6日

③ 審議会、町民ワークショップ風景



(2) 「(仮称) 地域カルテ作成業務委託」(大阪府豊中市より共同事業体として受託：1,892千円)

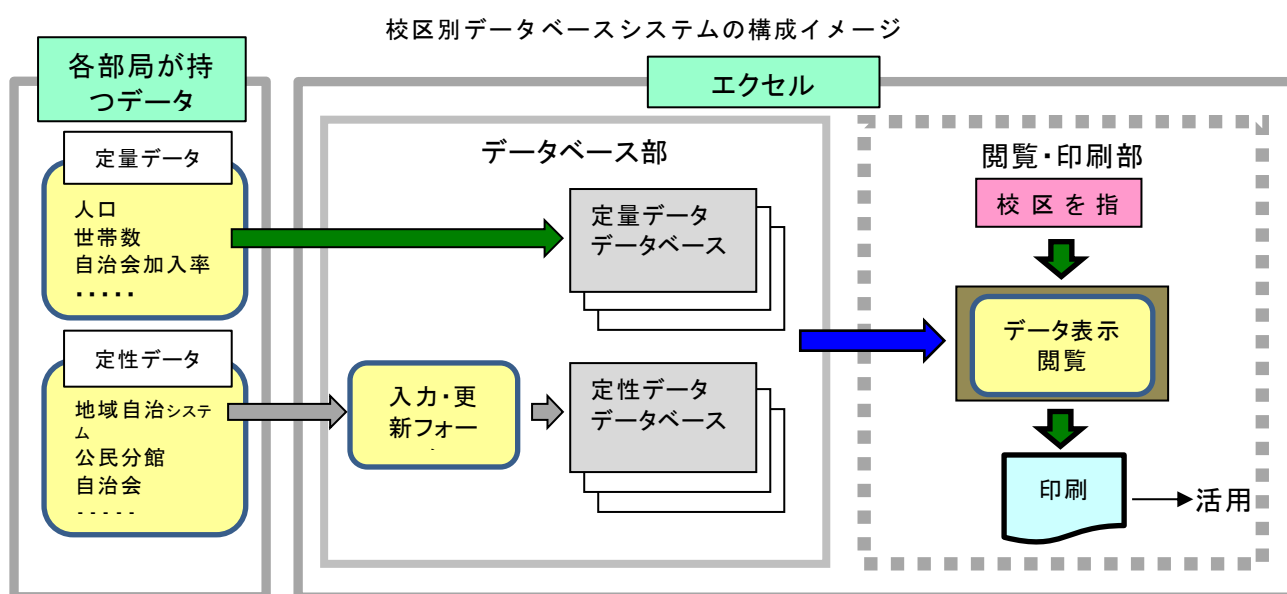
* 共同事業体としては、3,784千円

①業務の目的

豊中市の校區別データベースは、市内41小学校区ごとに、地域の歴史、環境、各種活動、地域資源等の情報のほか、市の各部局が持つ各種統計データ等を整理し、一覧できるようにし、市職員が、地域の現状を具体的に把握し、地域課題の共有とその解決に向けた取組みを庁内横断的に推進するために活用することを目的とするものである。

②システム構成

校區別データベースのシステムの構成は下図の通りである。主要部である定量データ部、定性データ部は、マイクロソフト・エクセルを用いてデータベース化されている。



③校區別データベースシステム

各部局の持つデータを直接あるいは入力フォームを通じてエクセルで組まれたデータベースシステムに入力(更新)し、そのデータベースについて、閲覧・印刷部により閲覧あるいは印刷することができる。詳細は、入力・更新マニュアルに記載している。

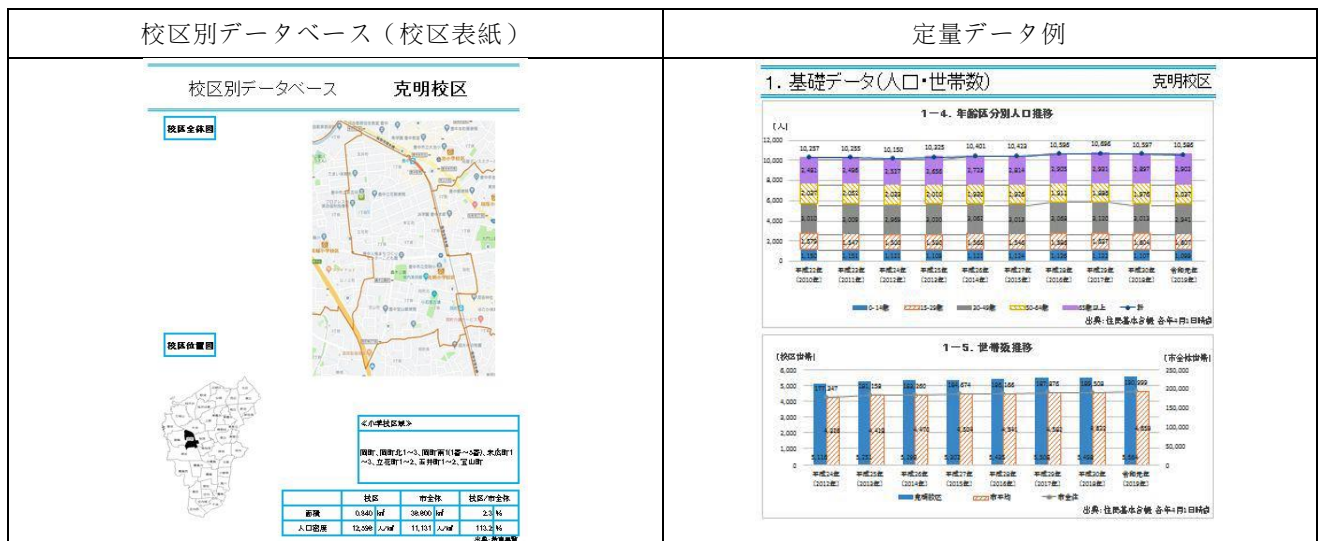
定量データについては、既存統計データを活用するとともに、一部のデータは小学校区への落とし込みを行い、グラフの自動化を行った。

定性データについては、地勢情報、住民の暮らし情報、交通、建物、住宅情報については資料に基づき入力し、その他のデータについてはコミュニティ政策課が入力した。

④操作及び入力・更新手引書の作成

操作マニュアル、入力・更新マニュアルの2種類を作成した。

⑤システムの表示画面(例)



(3) 生駒市 ①「やまびこネットワーク・ワークショップ企画・実施委託業務」

(奈良県生駒市より受託：292千円)

生駒市 ②「中地区・ワークショップ企画・実施委託業務」(奈良県生駒市より受託：257千円)

①やまびこネットワーク・ワークショップ

1) 目標

やまびこネットワーク（壺分小学校区市民自治協議会）において、多様な地域課題の解決や住民ニーズに対応し、安心安全で暮らしやすいまちをつかっていくため、2017年度には「まちづくりの方向」を検討し、2018年度は、昨年度の成果を基に、具体的な活動や事業を検討するためのワークショップを実施した。

今年度（2019年度）においては、住民、子どもの居場所づくり（交流の場）を実現するための考え方や方策を明らかにすることを目的としてワークショップを実施した。

2) 実施概要

○2019年11月30日（土）10時～13時 於壺分小学校多目的室、調理室

○参加者：校区内の市民自治協議会、自治会、PTA、民生・児童委員等を含む住民等。

3) ワークショップの構成（1回）

i 「居場所」について 子どもの状況についての話題提供と子どもの意見紹介

① 壺分小学校の子どもたち（スライドによる紹介） 壺分小学校校長

② 壺分小学校児童アンケート紹介 やまびこネットワーク顧問樋口清士氏

ii さまざまな居場所を考えるワークショップ

テーマ：子どもをはじめとして、住民誰もが集まれる「場・居場所」づくり。

I 居場所を考える 場・居場所を考える3つの問い

① さきほどの、話題提供と子どもの意見紹介を聞いて考えたこと。

② いまある、こんな場所がいいね！！を探そう！

③ 何があったら（どうなったら、誰が来たら）行きたい場所になるの？

II 居場所をつくる

④ 目的・目標は 場所はどこにしますか？ どんな「場」にしますか？

誰が準備をしますか？ 参加者の集め方は？ 一緒にやる人いますか？

4) ワークショップ風景



②中地区ワーク・ワークショップ

1) 目標

中地区（健康まちづくり協議会）において、多様な地域課題の解決や住民ニーズに対応し、健康で暮らしやすいまちをつかっていくため、2018年度には地域諸団体の力や可能性を探るSW分析を行うとともに、地域の課題を抽出し課題を解決するための「まちづくりの方向」を検討し、解決の方向を事業化する、5つの事業計画を作成した。

今年度（2019年度）においては、それらのうち、「中地区の地域特性を生かしたまちづくり」すなわち、市民の参加するスタンプラリーを実施する（実行体制をつくる）ことを目的としてワークショップを実施した。

2) 実施概要

○2019年12月14日（土）14時～16時 於コミュニティセンター 402、403会議室

○参加者 中地区健康まちづくり協議会、自治会、PTA、民生・児童委員等。

3) ワークショップの構成（1回）

i スタンプラリーの目標の確認

○ スタンプラリーを、まちづくりにつなげよう。

- スタンプラリーを、さまざまな活動の舞台にしよう。
 - スタンプラリーで、地域のさまざまな資源を活用しよう。
 - スタンプラリーを通して人がつながろう。
- ii スタンプラリー実施の前提条件の整理/確認
- 時期、時間帯：可能であれば 2020 年の春ごろ、あるいは季候のよい時期
 - エリア：近鉄生駒駅～宝山寺を含むエリア
 - 参加者：子ども、保護者、一般（まちづくり協議会、自治会、商店会、有志）
- iii スタンプラリー実施に向けてのワークショップ
- 実施にあたっての課題を次の 4 つの枠で実現性を考えるクリアする。
- 空間的枠組み
 - 時間的枠組み
 - 人的枠組み
 - その他の枠組み
- iv 結果の共有：グループ毎に 4 つの枠組みについて発表を行い、それについて参加者、ファシリテーターからコメントを行い、内容の精度を高めた。

4) ワークショップ風景



(4) 「広陵町公民館建替及び文化芸術のあり方検討委員会運営支援業務」

(奈良県広陵町より受託：292 千円)

広陵町の中央公民館建替及び文化芸術のあり方検討の流れについて検討する委員会の運営支援を行った。

委員会は以下の日程で開催された。

- 第 1 回 2020 年 2 月 22 日（土）10:30～12:20 於広陵町役場
 - 委員長選出、これまでの経緯とスケジュール検討
 - 学習会（中川幾郎委員長）

なお、第 2 回、2020 年 3 月 30 日（予定）は、新型コロナウイルスの蔓延状況を受けて中止（延期）となった。

(自主事業)

■ 市民自治講座

第Ⅴ期 まちづくりガバナンスと市民協働（全3回） 2020年3月～を当初予定

講師 新川達郎 氏（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授・政策学部教授）

第1回「地方自治におけるガバナンスと協働の視点」、第2回「まちづくりにおけるガバナンスとは」、第3回「協働型ガバナンスによるまちづくりに向けて」は、新型コロナウイルスによる感染症の影響で2020年度（2020年5月から）3回開催することとなった。

■ 地域自治システム形成、市民公益活動支援について

（各種委員／講演／研修等一覧）

類型	理事長	専務理事	理事
	関係自治体・団体等		
自治/まちづくり基本条例		西脇市（職員研修）	
行財政改革、行政評価	吉野町		
総合計画	王寺町、伊丹市	八尾市	
地域自治・住民自治	伊丹市、西脇市、豊中市	神戸市、大阪市	
地域づくり、まちづくり		兵庫県、東播磨県民局、丹波の森協会	
参画・協働	伊丹市、守口市、豊中市、西宮市、西脇市		生駒市（逸）
市民活動助成等	西脇市、豊中市、公益信託箕面山麓保全基金	大阪市、神戸市、しみん基金神戸	
男女共同参画		各地	
共生社会・人権			豊中市（逸）、生野区（逸）
災害・防災、復興		消防庁、滋賀県、大阪市、宝塚市 青森県、島根県、朝来市、名張市など	
文化振興	伊賀市、舞鶴市		
指定管理者選定、委託事業者選定等	大阪市生野区、東成区、住吉区、西区、中央区	岸和田市、大阪市福島区、阿倍野区	泉大津市（逸）
生涯学習	阪神シニアカレッジ	（公財）兵庫県生きがい創造協会	

注 （逸）は、田中逸郎氏

■ 出版事業

市民自治講座第Ⅳ期の講演録を、大阪市政調査会の協力で、“市民社会の哲学シリーズ”として2020年3月に刊行した。

● 市民自治講座第Ⅳ期 「自治体とは何か・公務員とは何か」（今井 照）

B5判 64頁 頒価 500円 250部作成

4. 組織運営

(総会・理事会の開催)

○定時総会（第18回） 2019年5月22日(水) 18:30～20:00

於 CANVAS 谷町

- ・議案 2018年度事業報告・決算議決承認
- ・報告 2019年度事業計画・収支予算報告

○理事会 2019年度第1回（通算第63回）：2019年5月22日（事業報告・計画、決算）

2019年度第2回（通算第64回）：2019年7月9日（理事長、専務理事の選任）

(貸借対照表の公示)

○定款に基づき、2018年度事業報告及び活動計算書、貸借対照表、2019年度活動予算書をNPO政策研究所ホームページにて公示した。